わたくしたちの健康

麻疹風疹混合ワクチン

朝霞地区医師会　杉田　正興
☎048-464-4666

はしか（＝麻疹）とは高い熱や咳が出現し、発熱から3日後にいったん解熱するが、再び高熱を発し、翌日から顔や体、手足に発疹を生じる病気です。やがて発疹は黒ずんできて（色素沈着）、徐々に健康な皮膚に戻りますが、肺炎や中耳炎、脳炎を合併して重症になることもあります。ウィルスが感染してから症状が出るまでの潜伏期は10～12日で、発熱初日から発疹出現後の数日までの間、ほかの人に感染を起こす危険性があります。

風疹は、別名「三日はしか」とも言われ、約3日程度の軽い発熱とそれと同時に全身に発疹が出現する病気です。発疹が出る前日から耳の後ろのリンパ節が腫れます。発疹はいずれ色素沈着を残さずにきれいに消失しますが、妊娠初期の妊婦が感染すると、おなかの赤ちゃんに低体重や難聴、心奇形などの様々な問題を引き起こすことがあります（先天風疹症候群）。ウィルスが感染してから症状が出るまでの潜伏期は14～21日で、症状が出る7日前から発疹が消えた後の数日までの間は、ほかの人に感染を起こします。

麻疹も風疹もかかると、とてもつらく、特効薬と言えるような治療薬はありません。そのような病気を予防するのが、麻疹風疹混合ワクチン（MRワクチン）です。

多くの人たちが、1歳ごろに麻疹や風疹のワクチンを1回接種しています。しかし中にはワクチンの接種を受けそびれたり、1回だけの接種では十分な免疫がつかなかったり、一度免疫がついたにも関わらずその後に免疫が弱くなってしまう人たちがいて、全国で麻疹や風疹が流行するようになりました。

実際、2001年（平成13年）には全国で20万人の麻疹患者が発生し、その後に患者数は減ったものの2006年（平成18年）と2007年（平成19年）には高校生や大学生の間で散発的に麻疹が流行しました。日本は先進国で最も麻疹患者が多い国ということになり、国際的な問題にもなりました。

また、風疹についても2004年（平成16年）に多くの先天風疹症候群の赤ちゃんが生まれています。

1回のみの麻疹と風疹のワクチン接種では、十分な免疫が得られない人が多く、そこで成人するまでに2回接種するように2006年（平成18年）6月から制度が変わりました。新しい制度では第1期（生後12か月～24か月）と第2期（小学校入学前の1年間）にワクチンを接種し、すでに第2期の対象年齢を過ぎてしまった人は、第3期（中学校1年生相当）か、第4期（高校3年生相当）にワクチンを接種することとなりました（ただし第3期と第4期は2008年（平成20年）4月から5年間のみの措置です）。これにより、1990年（平成2年）4月以降に生まれた人については、何らかの形で2回接種する機会が与えられました。麻疹や風疹の予防は、自分自身を守るだけではなく、家族や社会全体を病気の脅威から守るために重要です。接種対象の時期になったら、できるだけ早く接種するようにしましょう。また、接種対象者で、まだ接種していない方は、できるだけ早めに接種するようにしましょう。

日曜・休日に実施している医療機関

午前10：00～午後4：00

月日		場所	診療所名	科目	☎(048)	場所	診療所名	科目	☎(048)
8	2	新座	清水医院	内・外・循・皮	476-2111	朝霞	増田耳鼻咽喉科医院	耳・気・アレ	463-9218
	9	新座	守屋医院	外・内・皮泌・胃・肛・放	479-8855	和光	田中医院	内・小・胃	461-2060
	16	新座	わかばクリニック	内・アレ・循・小	489-5323	新座	梅沢皮フ科クリニック	皮	(042) 472-5118
	23	新座	新座クリニック	内・小・胃・循・呼	479-6321	志木	清河眼科医院	眼	474-3369
	30	新座	樹康クリニック	内・小・外・皮・胃・肛	470-5050	志木	内田耳鼻咽喉科医院	耳・気・外	473-3387

※当番医は変更になる場合もあります。確認してからお出かけください。

※8月の休日歯科応急診療所

実施日　8／2(日)・9(日)・16(日)・23(日)
受付時間　午前9時～11時30分
場所　新座市休日歯科応急診療所（新座市保健センター）
診察料　健康保険法の規定料金（保険証を必ずお持ちください。）
問い合わせ　☎048-481-2211

※救急医療のお問い合わせ

●埼玉県救急医療情報センター　☎048-824-4199
●埼玉県南西部消防本部　☎048-460-0123

※小児救急電話相談

●＃8000（携帯電話からも相談可能）

☆今月の主な保健衛生週間行事予定

8月は「食品衛生月間」です！